

配 付 資 料

日 時 2015年9月5日(土) 17:00~17:45 (終了予定)
会 場 北海学園大学 豊平キャンパス 7号館

司会 山口 憲二 理事

一 次 第 一

1. 開会の辞
2. 議長選出
3. 事業報告
 - ・ 2014年度事業報告 . . . (資料1)
 - ・ 日本キャリアデザイン学会の商標登録申請
 - ・ 活動日誌 . . . (資料2)
4. 議決事項
 - 第1号議案 2014年度中間決算承認の件 . . . (資料3)
 - 第2号議案 2015年度事業計画案の件 . . . (資料4)
 - 第3号議案 2015年度予算案の件 . . . (資料5)
 - 第4号議案 その他
5. 2016年度研究大会・総会の件 . . . (資料6)
6. 閉会の辞

以上

《資料1》 2014年度 事業報告

1. 会員数の推移

正会員は昨年より11名増加し会員数は、960名(昨年比101.2%)となった。

会員状況

※単位:名 (2015年8月31日現在)

会員種別	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	前年比
正会員	834	859	920	949	960	11
正会員(院生)	112	122	134	136	143	7
学生会員	25	25	24	25	23	-2
賛助会員(個人)	133	131	134	131	124	-7
賛助会員(団体)	41	41	41	40	39	-1
合計(人)	1,145	1,178	1,253	1,281	1,289	8

2. 当学会の問題意識と基本的な考え方

今日、学校や事業組織、政府自治体の政策などでは、キャリアデザインという言葉は広汎に使われるに至っているが、その意味は必ずしも統一されているわけではない。学問分野を超えた学際的な学会として、用語の整理、概念の深化及び実態の多角的な検討など、キャリアに関する基礎研究の必要性は今後も変わらない。

付け加え、キャリアデザイン支援の有り方については、それぞれの発達段階における個々の事例研究のさらなる蓄積とともに、今後は各発達段階における支援の連続性と非連続性に着目し、あわせて各段階における多層性とその支援の多様性も視野に入れて活動する、との認識の下、諸活動を行った。

3. 今期および中期的活動計画

当学会は昨年度設立10周年を迎え、今期はその新たな5年、10年に向けた始まりの年となった。すでに、10周年記念誌において、当学会として取り組んできた研究の結果、解決したもの、積み残したものは何かを明らかにし、今後のキャリア研究の課題をまとめる作業を行い、さらに、第11回研究大会においても、その成果を踏まえた企画シンポジウムが行った。これらの成果とディスカッションを踏まえて、キャリアデザインの創造的相互作用を深化させるとともに、今後の新たな10年間の研究活動・社会的活動・地域活動の新たな発展の基礎を構築することを活動目標として、委員会組織の再編を行った。

また、学会活動およびそのサービスのさらなる発展と向上のため、様々な観点から学会運営のあり方を再点検し、より充実した効率的な学会活動を実現するための施策に着手した。

4. 研究組織委員会活動

今期方針の通り、当学会が10年の節目を迎えたことを踏まえ、あらためて学会としてのキャリアデザインに関する学術的研究の方向性および方針を総合的に検討し、あわせて学会の持続的発展を可能とするために、監査体制の強化、研究組織委員会の再編に着手した。

(1)研究組織委員会の活動

以下のとおり、各委員長を中心として委員会活動を推進した。

①研究組織委員会

玄田有史委員長のもと、研究組織委員会準備委員会を立ち上げ、当委員会の運営方針及び体制について検討した後、委員会を組織した。また、財政健全化部会を立ち上げ、具体的な経費節減の施策を検討し、実行した。

②研究大会企画委員会(新設)

青木猛正委員長のもと、第12回研究大会(北海学園大学)の大会テーマ、基本方針を決定し、自由研究発表の募集、学会企画、記念講演、シンポジウムの検討を行った。その状況を受けてプログラムを策定、司会者・コメンテーターを決定し、大会の運営を行った。

③研究会企画委員会

梅崎修委員長のもと、新年度、「キャリア・デザイン・ライブ!」と名付けた新しい形式の研究会を開始した。2月から新委員会メンバー間で企画検討会を実施し、会員の参加しやすさを考えて

金曜日夜と土曜日午後に開催することに決めた。毎月1回、4-7月に全4回を実施し、報告の内容はニュースレターにおいて紹介された。毎回約30名を超える申し込みで非会員の参加も多い(その後、入会してくれた人もいる)。

④研究誌編集委員会

川崎友嗣委員長のもと、各編集委員のご尽力により、研究誌『キャリアデザイン研究 Vol.11』を9月末日に発行の予定で編集作業を進めている。27件の投稿があり、8月25日現在、掲載決定が8件(論文2件、研究ノート4件、資料紹介1件、事例紹介1件)、査読中が7件、不採択7件、辞退5件となっている。また、査読システムの整備を行った。

⑤広報委員会

内田勝久委員長のもと、キャリアデザイン・ニュースレター及びキャリアデザインマガジンを定期発行した。

⑥キャリア研究・政策・国際交流委員会

脇坂明委員長のもと、10年という長期のビジョンで、キャリアデザイン学会の研究の方向性を考えることを主目的として、委員会を構成することにした。委員長、副委員長以外の委員を各分野から選抜し、「キャリア形成と人材育成」をテーマに議論にはいった。

⑦15周年記念事業委員会(新設)

武石恵美子委員長のもと、学会設立15周年に向けて、キャリア研究・政策・国際交流委員会と連携しつつ、記念事業の方向性検討に着手した。

(2) 地域活動

各支部長と連携を図りながら各支部主催の研究会を開催した。

①関西支部

松高政支部長のもと、支部役員会を1回開催し、第5回支部研究大会、第17回支部研究会を開催した。

②中京支部

金井篤子支部長のもと、支部役員会を1回開催し、年2回中京支部研究会を開催した。

5. その他の活動

①会員名簿・会員業績目録の作成について

学会ホームページを利用した名簿及び会員業績目録のデータベースについては、個人情報保護法の観点からデータベースのあり方に関し、事務局(プライバシーマーク取得企業:ぶんしん出版)との調整を進めている。

②他学会等との連携について

WACE(世界産学連携教育協会)と連携し第19回世界大会を、JAMOTE(人材育成と教育サービス協議会)と連携し「人材育成と教育サービスの国際化シンポジウム」を、中央職業能力開発協会と連携し「キャリア支援企業表彰2015」厚生労働大臣表彰・キャリア支援推進シンポジウムを後援した。

③「日本キャリアデザイン学会」の商標登録申請について

「日本キャリアデザイン学会」の商標は、法政大学がキャリアデザイン学部の創設に関連して、2005年6月3日からの10年間、学校法人法政大学を商標権者として登録されていたが、期間満了後は更新されなかった。

当学会では、第2回常務理事会にて審議し、当学会(及び関係者)での申請を決定したが、法人格を持たない当学会は申請者になれないことから、中村恵会長個人で申請した。

6. 決算

研究会企画委員会による「キャリア・デザイン・ライブ!」などの会員増加にも寄与できる企画を推進すると共に、研究組織委員会による財政健全化の施策、日常的な経費節減に努め、単年度収支の改善を図った。なお、今期の研究助成金・15周年記念大会委員会事業費は凍結した。

以上

《資料2》 活動日誌

行事等	日付	主な内容	場所
研究大会	2014年9月13日、 14日	第11回研究大会 特別講演：加賀屋の人材育成と海外展開 株式会社加賀屋 代表取締役社長 小田與之彦氏 学会特別企画ミニ・シンポジウム：ダイバーシティ マネジメントを考える ～障害者雇用の推進に向 けて押さえるべきことは～ 株式会社ぐるなび執行役員管理本部人事部門長 兼株式会社ぐるなびサポートアソシエ代表取締 役 田中潤氏、福島大学行政政策学類 長谷川珠 子氏、法政大学現代福祉学部 眞保智子氏、埼玉 県立上尾かしの木特別支援学校 青木猛正氏（コ ーディネーター） 基調講演：日本キャリアデザイン学会の10年を 振り返って 法政大学キャリアデザイン学部 佐藤厚氏 シンポジウム：キャリアデザインの創造的相互作 用 ～10年間の省察と今後の展望～ 関西大学社会学部 川崎友嗣氏、法政大学キ ャリアデザイン学部 児美川孝一郎氏、日本 IBM人事 次長 平林正樹氏、学習院大学経済学 部脇坂明氏 法政大学 佐藤厚氏（コメンテーター） 東京大学 玄田有史氏（コーディネーター）	東京家政大学
理事会	2014年9月13日	2013年度第2回理事会 2014年度第1回理事会 2013年度事業報告、活動日誌、2013年度決算、 新役員承認、日本キャリアデザイン学会倫理規 程、2014年度活動計画、2014年度予算、次期会 費の納入時期について、その他	東京家政大学
総会	2014年9月13日	総会 2013年度事業報告、活動日誌、2013年度決算、 新役員承認、日本キャリアデザイン学会倫理規 程、2014年度活動計画、2014年度予算、次期会 費の納入時期についてその他	東京家政大学
研究誌	2014年9月13日	研究誌『キャリアデザイン研究』Vol.10 発行	
ニュースレター	2014年9月16日	キャリアデザイン・ニュースレター第120号	
メールマガジン	2014年10月6日	キャリアデザインマガジン117号	
ニュースレター	2014年10月15日	キャリアデザイン・ニュースレター第121号	
研究組織委員会 準備委員会	2014年10月20日	第1回研究組織委員会 第12回研究大会について、研究組織委員会の運 営について、その他	学習院大学
関西支部研究大 会	2014年11月1日	関西支部第5回研究大会 (1) 進学校での進路指導 ―現状と実践― 京都造形芸術大学 生駒 俊樹氏 (2) 大学生の基礎学力と社会人基礎力 ―教学 I Rの視点から 関西大学社会学部 川崎 友嗣氏	関西大学社会 学部（第三学 舎）

行事等	日付	主な内容	場所
ニュースレター	2014年11月17日	キャリアデザイン・ニュースレター第122号	
研究会企画委員会	2014年12月1日	研究会企画委員会準備打ち合わせ 今年度の研究会の方向性について、その他	法政大学
中京支部	2014年12月7日	中京支部準備打ち合わせ 今年度の活動について、その他	名古屋大学
研究組織委員会	2014年12月10日	研究組織委員会 財政健全化部会準備打ち合わせ 財政健全化の方策について	富士電機
ニュースレター	2014年12月15日	キャリアデザイン・ニュースレター第123号	
常務理事会	2014年12月21日	第1回常務理事会・研究組織委員会合同会議 学会の運営体制について、第12回研究大会について、財政の健全化について、その他	学習院大学
ニュースレター	2015年1月15日	キャリアデザイン・ニュースレター第124号	
研究会企画委員会	2015年2月5日	第1回研究会企画委員会 2014年度研究会、ミニシンポジウムについて	法政大学55年館
メールマガジン	2015年2月6日	キャリアデザインマガジン118号	
研究大会企画委員会	2015年2月21日	第1回研究大会企画委員会 2015年度第12回研究大会について	日本経済大学 2号館
ニュースレター	2015年2月16日	キャリアデザイン・ニュースレター第125号	
研究誌編集委員会	2015年3月10日	第1回研究誌編集委員会 研究誌 (Vol. 11) の編集について、その他	筑波大学東京 キャンパス文 京校舎
ニュースレター	2015年3月16日	キャリアデザイン・ニュースレター第126号	
中京支部	2015年3月21日	第4回中京支部研究会「若年者就労支援を考える」 (1) 学卒時の労働市場状況が若年者にもたらす影響について一展望 慶応義塾大学経済学部 太田聡一氏 (2) NEET状態の若年者への就労支援がキャリア決定自己効力に及ぼす影響 NPO法人 ICDS キャリアデザイン・サポーターズ 理事長 深谷潤一氏	名古屋大学東 山キャンパス
メールマガジン	2015年4月3日	キャリアデザインマガジン119号	
ニュースレター	2015年4月15日	キャリアデザイン・ニュースレター第127号	
研究会	2015年4月24日	第58回研究会 (キャリア・デザイン・ライブ第1回「社員の多様化とキャリア」) 学習院大学経済学部 今野浩一郎氏 コーディネーター：東京大学社会科学研究所 玄田有史氏、法政大学キャリアデザイン学部 梅崎修氏	法政大学58年 館キャリア情 報ルーム
関西支部	2015年4月25日	第17回関西支部研究会「新卒採用のあり方を考える」 ロート製薬の実施する“生コミュニケーション採用” ロート製薬株式会社 人事総務部部長 綾井博之氏	関西生産性本 部
ニュースレター	2015年5月15日	キャリアデザイン・ニュースレター第128号	

行事等	日付	主な内容	場所
研究会	2015年5月22日	第59回研究会 (キャリア・デザイン・ライブ第2回「仕事の成果は労働時間の長さ按比例する?」) 人事ジャーナリスト 溝上憲文氏 コーディネーター: 東京大学社会科学研究所 玄田有史氏、法政大学キャリアデザイン学部 梅崎修氏	法政大学58年館キャリア情報ルーム
常務理事会	2015年5月31日	第2回常務理事会・研究組織委員会合同会議 第12回研究大会について、商標登録について、後援名義の使用申請について、その他	学習院大学
キャリア研究・政策・国際交流委員会	2015年5月31日	第1回キャリア研究・政策・国際交流委員会 日本キャリアデザイン学会10年ビジョンについて	学習院大学
メールマガジン	2015年6月4日	キャリアデザインマガジン120号	
ニュースレター	2015年6月9日	キャリアデザイン・ニュースレター臨時号	
ニュースレター	2015年6月15日	キャリアデザイン・ニュースレター第129号	
研究会	2015年6月26日	第60回研究会 (キャリア・デザイン・ライブ第3回「精神科産業医が語る『キャリアに囚われる人の特徴』」) 精神科医、産業医 野口 海氏 コーディネーター: 東京大学社会科学研究所 玄田有史氏、法政大学キャリアデザイン学部 梅崎修氏	法政大学58年館キャリア情報ルーム
キャリア研究・政策・国際交流委員会	2015年7月6日	第2回キャリア研究・政策・国際交流委員会 日本キャリアデザイン学会10年ビジョンについて	学習院大学
研究会	2015年7月11日	特別研究会 (キャリア・デザイン・ライブ サマー・スペシャル「いいことしてるなんて、思わないー若者に私たちができること・できないこと」) NPO 法人育て上げネット・たちかわ若者サポートステーション 井村 良英氏 川崎市立川崎高等学校定時制課程教諭 松本 智春氏 コーディネーター: 東京大学社会科学研究所 玄田有史氏	産業能率大学 自由が丘キャンパス
ニュースレター	2015年7月15日	キャリアデザイン・ニュースレター第130号	
中京支部	2015年8月1日	第5回中京支部研究会 「企業の中のキャリアデザイン～ワーク・ライフ・バランスの視点から考える～」 中部キャリアカウンセリング研究会 土岐昌生氏 椋山学園大学 加藤 容子氏	名古屋大学東山キャンパス
メールマガジン	2015年8月14日	キャリアデザインマガジン121号	
ニュースレター	2015年8月16日	キャリアデザイン・ニュースレター第131号	

行事等	日付	主な内容	場所
関西支部	2015年8月19日 ～21日	<p>世界産学連携教育協会（WACE）第19回世界大会 ジャパンプログラム 「グローバル社会を生き抜く力の育成をめざした コーオペ教育の確立に向かって」</p> <p>オープニング：WACE CEO ポール・ストーンリー氏、 京都産業大学 学長 大城光正氏、京都府知事 山田啓二氏、京都市長 門川大作氏</p> <p>基調講演：「企業が求める人材と大学教育への期 待」富士ゼロックス株式会社代表取締役会長 山本忠人氏</p> <p>パネルディスカッション：「CWIEの次のステップに 向かって、グローバル課題と機会」 NPO法人WIL 代表理事/WACE日本事務所代表 宮 川敬子氏</p> <p>モデレータ：ロイヤルメルボルン工科大学 ジュ ディ・ケイ氏、ウエスタンデジタル株式会社 サ ンパン・シラパナド氏、ロンドンスクール・オ ブ・ビジネス&ファイナンス モウリス・ファ ン・ルーイエン氏、ウェントワース工科大学 ゾリカ・パンティック氏</p> <p>基調講演：「タイにおけるCWIE：国際CWIEの課題に 直面して」スラナリー工科大学 ウィット・ス リサ・アン氏</p> <p>モデレータ：ビクトリア大学 ノラ・マクレー氏</p> <p>オープン・スペース・テクノロジー： サイモン・フレーザー大学 ナンシー・ジョン ストン氏、京都産業大学 田中寧氏、立命館大学 長 田尚子氏、九州産業大学 森田 泰暢氏、ナミビ ア工芸大学 カルバ・ポップ氏</p>	京都産業大学
常務理事会	2015年8月25日	<p>第3回常務理事会・委員長合同会議 第12回研究大会について、総会の議題について (事業報告、中間決算、事業計画、予算案) 委員会活動報告、その他</p>	中央大学 駿 河台記念館

日本キャリアデザイン学会 2014年度決算書

貸借対照表

2015年8月20日現在

資産・負債別/科目		金額	備考	
資産の部	流動資産	現金	149,601	
		普通本口（三菱東京UFJ）	5,068,390	
		普通大会口（三菱東京UFJ）	666,026	
		普通関西大会口	238,449	
		郵便貯金	78,977	
		前渡金	0	
		前払費用	0	
		仮払金		
		流動資産合計	6,201,443	
資産合計		6,201,443		
負債の部	流動負債	未払金	22,994	
		前受金	0	
		預り金	0	
		流動負債合計	22,994	
負債合計		22,994		
正味財産の部		6,178,449		
(うち当期収支差額)		4,434,427	今後の支出予定額は、2,609,308円	
負債及び正味財産合計		6,201,443		

日本キャリアデザイン学会 2014年度（中間） 収支計算書

2014年10月1日～2015年9月30日

（単位：円）

科目別	予算	決算 (2015.8.20現在)	決算済み (2015.8.21～ 9.30)	最終決算 決算済み	差額	科目別	予算	決算 (2015.8.20現在)	決算済み (2015.8.21～ 9.30)	最終決算 決算済み	差額	備考
I. 収入の部												
会費収入	9,500,000	9,043,051	50,000	9,093,051	406,949	大会関連支出	2,500,000	683,490	1,697,600	2,381,090	118,910	2014年度は、12回大会分
大会会費収入	1,300,000	701,000	300,000	1,001,000	299,000	関西支部支出	200,000	19,470	0	19,470	180,530	
研究会参加費収入	300,000	90,000		90,000	210,000	地域活動費	150,000	18,400	0	18,400	131,600	
研究誌等販売収入	110,000	260,750		260,750	-150,750	業務委託費	2,628,000	2,127,600	183,600	2,311,200	316,800	事務局委託費
関西支部収入	50,000	12,500		12,500	37,500	広告宣伝費	250,000		0	0	250,000	学会ハンフレット(250千円)
地域活動収入	100,000	51,000		51,000	49,000	旅費交通費	800,000	218,500	70,000	288,500	511,500	理事会、委員会等旅費
その他事業収入	0	134,672		134,672	-134,672	通信費・運賃	1,150,000	492,152	497,160	989,312	160,688	ホームページ維持費(400千円)、 ホームページレスター、委員への送付
受取利息	425	544		544	-119	諸謝金	350,000	201,658	0	201,658	148,342	研究会講師謝金、テープ起こし
当期収入計(A)	11,360,425	10,293,517	350,000	10,643,517	716,908	会合費	300,000		8,000	8,000	292,000	会議室等借入金
前期繰越資金	325,105	1,744,022		1,744,022	-1,418,917	消耗品費	200,000	128,156	20,000	148,156	51,844	
収入合計(B)	11,685,530	12,037,539	350,000	12,387,539	-702,009	印刷費	1,750,000	1,861,272	0	1,861,272	-111,272	研究誌発行(1600千円)、新聞代(150千円)
						支払手数料	200,000	18,392	0	18,392	181,608	銀行振込手数料 口座引き落手数料
						諸会費	90,000	90,000	0	90,000	0	中央職業能力開発研究会年会費
						研究助成金	500,000			0	500,000	
						15周年記念大会委員会事業	150,000			0	150,000	15周年に向けた設立
						予備費・雑費	100,000		132,948	132,948	-32,948	商標登録
						当期支出計(C)	11,318,000	5,859,090	2,609,308	8,468,398	2,849,602	
						当期収支差額(A)-(C)	42,425	4,434,427	-2,259,308	2,175,119	-2,132,694	
						次期繰越資金(B)-(C)	367,530	6,178,449	-2,259,308	3,919,141	-3,551,611	

※その他事業収入は、WAGEからのチラシ発送代行収入を示す。

《資料 4》 2015 年度事業計画案の件

1. 当学会の問題意識と基本的な考え方

今日、学校や事業組織、政府自治体の政策などでは、キャリアデザインという言葉は広汎に使われるに至っているが、その意味は必ずしも統一されているわけではない。学問分野を超えた学際的な学会として、またアカデミックと現場実務との相互交流及び相互作用を重視する学会として、用語・概念の整理や深化、現場実態の多角的な検討やその理論的解釈など、キャリアに関する基礎研究とその成果共有の必要性、重要性は今後も変わらない。

付け加え、キャリアデザイン支援の有り方については、それぞれの発達段階における個々の事例研究のさらなる蓄積とともに、今後は各発達段階における支援の連続性と非連続性に着目し、あわせて各段階における多層性とその支援の多様性も視野に入れて活動する。

2. 今期および中期的活動計画

当学会は一昨年度設立 10 周年を迎え、昨年度より新たな 5 年、10 年に向けた学会発展の基礎の構築を開始した。10 周年記念誌が明らかにしたこれまでの成果の整理と課題のまとめ、および第 11 回研究大会企画シンポジウムで交わされた議論をふまえ、昨年度は学会活動組織のさらなる充実を図るとともに、新たな施策・活動にも着手することができた。

今年度においては、昨年度の実績を土台とし、引き続きキャリアデザインの創造的相互作用の更なる深化を追求するとともに、今後 10 年間の研究活動・社会的活動・地域活動の新たな発展の基礎を構築することを活動目標とする。

なお、学会活動及びそのサービスの更なる発展と向上のため、様々な観点から学会運営のあり方を再点検し、より充実した効率的な学会活動を実現する施策についても、引き続き今年度も検討する。

(1)研究組織委員会の活動

各委員長を中心に、諸活動を推進する。

①研究組織委員会

前年度に引き続き、学会としてのキャリアデザインに関する学術的研究の方向性および方針を総合的に検討する。あわせて学会の持続的発展を可能とするための、研究組織全体の効果的運営や経費節減に向けた検討も行う。

②研究大会企画委員会

第 13 回研究大会（愛知教育大学）の大会テーマ、基本方針の決定、自由研究発表の募集、大会企画の検討、及び当日の運営を行う。

③研究会企画委員会

2015 年度も 2014 年度から開始したキャリア・デザイン・ライブ！を継続する。キャリア教育、労働問題などでできるだけ幅広いテーマを選びたい。9 - 12 月に全 4 回を実施する予定で、既に報告者は決まっている。

④研究誌編集委員会

2015 年 12 月 1 日から 2016 年 1 月 10 日まで投稿を受け付け、研究誌 Vol. 12 を発行する。査読システムについて見直しを行うとともに、懸案事項である掲載論文の電子化（CiNii への登録）についても検討する。

⑤広報委員会

キャリアデザイン・ニュースレター及びキャリアデザインマガジンを定期発行する。また、学会ホームページを活用した情報発信の充実や SNS を活用した学会活動の情報発信について検討していく。

⑥キャリア研究・政策・国際交流委員会

「キャリア形成と人材育成」のテーマのうち、とくに経済学、社会学などでブラックボックス となっている OJT について、その中身を議論する。委員を中心に公開の場で発表と討論を行い、論点を整理し、将来、学会のセッションやシンポジウムで成果を披露できるまでもっていきたい。

⑦15 周年記念事業委員会

学会設立 15 周年に向けて、具体的な記念事業を検討すると共に、収支バランスを見ながら積立金として予算を執行する。

(2) 地域活動

各支部長と連携を図りながら各支部主催の研究会の推進、地域の会員との交流会を開催する。

①関西支部

年2回の研究会、年1回の研究大会を開催する。

②中京支部

年3回の研究会を開催する。

③その他の地域

各地区での交流会を積極的に推進する予定である。

3. その他の活動

必要に応じて会員アンケートを実施しながら、会員の積極的な参加を促進し、役員と会員の協働によって諸活動を推進したい。

①役員改選

任期満了に伴い、役員選挙を実施する。

②一般社団法人化に向けた調査・研究

今後の当学会の研究活動を推進するために、法人格の取得によってどのようなメリット・デメリットがあるかを研究・検討するために、ワーキンググループを編成し、2016年度総会までに方針を固める。

③会員名簿・会員業績目録の検討

学会員相互の交流を促進するために、個人情報保護法を踏まえ、学会ホームページ「私のキャリアデザイン」の編集方針と合せて、学会ホームページを利用した名簿及び会員業績目録のデータベース化のありかたを、広報委員会にて検討する。

④研究誌の発行方法の検討

Vol.12以降の研究誌の発行方法について、電子化による会員サービスの向上や電子媒体のみの発行による経費節減など、ワーキンググループを編成し、会員の意向も踏まえ、多角的な観点から検討する。

⑤自主研究の支援

会員の研究奨励のため、奨励研究の公募を再開する。

⑥他学会等との連携

キャリアに関する研究活動を行っている学会、研究機関、メディア等と連携した研究活動をさらに推進する。

以上

日本キャリアデザイン学会 2015年度予算 (案)
収支計算書

2015年10月1日～2016年9月30日

(単位：円)

科目別	2015予算	2014予算	2014年度 決算見込み額	差額 (2015予算-2014 決算見込み)
I. 収入の部				
会費収入	9,100,000	9,500,000	9,093,051	6,949
大会会費収入	1,100,000	1,300,000	1,001,000	99,000
研究会参加費収入	150,000	300,000	90,000	60,000
研究誌等販売収入	200,000	110,000	260,750	-60,750
関西支部収入	20,000	50,000	12,500	7,500
地域活動収入	20,000	100,000	51,000	-31,000
その他事業収入	0	0	134,672	-134,672
受取利息	500	425	544	-44
当期収入計 (A)	10,590,500	11,360,425	10,643,517	-53,017
前期繰越資金	3,919,141	325,105	1,744,022	2,175,119
収入合計 (B)	14,509,641	11,685,530	12,387,539	2,122,102

科目別	2015予算	2014予算	2014年度 決算見込み額	差額 (2015予算-2014 決算見込み)	備考
II. 支出の部					
大会関連支出	2,400,000	2,500,000	2,381,090	18,910	2015年度は、13回大会分
関西支部支出	20,000	200,000	19,470	530	
地域活動費	50,000	150,000	18,400	31,600	
業務委託費	2,311,200	2,628,000	2,311,200	0	事務局委託費他
広告宣伝費	108,000	250,000	0	108,000	学会パンフレット(108千円)
旅費交通費	400,000	800,000	288,500	111,500	理事会、委員会等旅費
通信費・運賃	1,150,000	1,150,000	989,312	160,688	ホームページ維持費(400千円)、ニュースレター(200千円)、会員への送付、選挙
諸謝金	300,000	350,000	201,658	98,342	研究会講師謝金、テーブル起こし
会合費	50,000	300,000	8,000	42,000	会議室等借用含む
消耗品費	200,000	200,000	148,156	51,844	
印刷費	1,770,000	1,750,000	1,861,272	-91,272	研究誌発行(1620千円)、新聞代(150千円)
支払手数料	50,000	200,000	18,392	31,608	銀行振込手数料 口座引き落手数料
諸会費	90,000	90,000	90,000	0	中央職業能力開発研究会年会費
研究助成金	500,000	500,000	0	500,000	学会研究事業、奨励研究
15回記念大会委員会事業費	500,000	150,000	0	500,000	15周年に向けた横立 6500千円×4年
予備費・雑費	276,256	100,000	132,948	143,308	商標登録申請
当期支出計 (C)	10,175,456	11,318,000	8,468,398	1,707,058	
当期収支差額 (A) - (C)	415,044	42,425	2,175,119	-1,760,075	
次期繰越資金 (B) - (C)	4,334,185	367,530	3,919,141	415,044	

《資料 6》

2016 年度研究大会・総会の開催

主宰校： 愛知教育大学

〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢 1

名鉄知立駅からバス約 20 分・日進駅からバス約 25 分

JR刈谷駅からバス 35 分

日程：2016 年 9 月 10 日（土）・11 日（日）

URL: <http://www.aichi-edu.ac.jp/index.html>



－お問い合わせ－

日本キャリアデザイン学会

〒181-0012
東京都三鷹市上連雀 1-12-17
三鷹ビジネスパーク 2号館
ぶんしん出版内

TEL.0422-55-6582 FAX.0422-55-6582

E-mail info@career-design.org

URL: <http://www.career-design.org>